

9月の園だより

令和6年9月2日

杉並区立西荻北子供園

園長 須田 なぎさ



幼児教育の大切さ

園長 須田 なぎさ

日が暮れると、秋の虫の声が聞こえるようになってきました。今年の夏も、酷暑となり、外に出て遊ぶことが危険な日が多くありました。長時間保育でも、気温が上がらない朝1番にプールに入ったり、室内で絵具遊びをしたりして、暑さ対策をして工夫して過ごしました。皆さん、どのような夏をお過ごしでしたか。

夏季休業中、私が受けた研修の中で、繰り返し言われたことが、「幼児教育の大切さ」です。

これから先の世の中は、予測困難な時代と言われています。その時代を生き抜くためには、子どもたち一人ひとりが、「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」とされています。そのような課題がある中、「身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、全ての幼児が健やかに育つことができる」幼児教育は、子どもたちの資質能力を育むものであり、小学校以降の「主体的で対話的で深い学び」につながっています。

大学生の我が子に授業の様子を聞くと、講義を聞くだけでなく、友達とディスカッションをしたり、グループのメンバーでテーマを決めてパワーポイントを作って発表したりするといった多様な考えに出会い、対話し協働しながら学習する形態のものが増えているようで、学びは変化しているようです。

子供園の子どもたちは、遊びを通して様々なことを学んでいます。「ただ遊んでいるだけ」と誤解されやすいですが、遊びの中には学びの芽がたくさんあります。子どもたちが「やりたい」という気持ちで主体的に始めた遊びには、小学校以降の学びの芽がたくさんあります。

新幹線が作りたいという思いから始まった遊びの姿から、教師が環境を用意することで、遊びの中で子どもたちがどんなことを学んでいるかみてみましょう。

新幹線を作りたい・・・凶鑑や写真などを用意・・・調べることで知識を広げる

作るものを決めて意欲的に取り組む

長くしたい・・・必要な素材、用具を提示・・・思いの実現のために道具や素材の使い方を知り工夫する

取り組んでいることを認め励ます・・・長さについて気付き、友達と比べる

しっかりつなげたい・・・幼児の思いをくみ取る・・・困ったことを言葉にする

線路を曲がって・・・解決策を一緒に考える・・・試行錯誤する 考える

走るようにしたい 友達に助けを求める(人との関わり)

子どもたちは「～したい」という思いを実現できると、「できた」と喜びを感じます。そして、さらに新しい「～したい」という思いが生まれ、遊びが楽しくなっていきます。こうした学びの芽を育むためには、先生が遊びの様子や子どもたちの姿をよく見て、読み取ることが大切です。その読み取りをもとに、先生たちは、モノや道具を用意し、一人ひとりに合わせて、見守ったり必要な声をかけたりして、子どもたちの成長に必要な環境を準備しているのです。私だけでなく、先生たちもそれぞれ夏季休業中に研修を受けております。その成果を生かして、子どもたちにどのような経験が必要なのかを考え、ぴったりの環境を用意し、充実した教育活動となるよう進めてまいります。2学期も、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



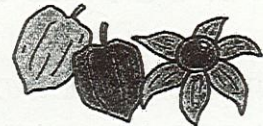
3歳児 うさぎ組

あっという間に夏休みが終わり、2学期が始まりました。お子さん一人ひとりが、夏の楽しい思い出をつくったことと思います。『なつのきろく』を見たり、思い出話を聞いたりして、夏休みの余韻を楽しみつつ、園生活のリズムを取り戻せるようにしていきます。

9月1週目まではプール遊びがあります。久しぶりの水の感触を全身で楽しんでいきます。また、園庭でおもいきり走ったり、園の近くを散歩したりと、体を動かす心地よさを感じられる活動も取り入れていきます。

<今月のねらい>

- 自分のやりたい遊びを見付け、保育者や他の幼児と楽しむ。
- 保育者や他の幼児と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 生活のリズムを取り戻し、自分でできる身支度は自分でやってみようとする。



<家庭との連携>

生活リズムを整えていき、園で元気に過ごせるようにしていきましょう。まだまだ暑さが続きます。朝食・水分をしっかりとってから登園できるといいですね。

また、新学期の初めは気持ちが不安定になりやすいです。お子さんの気持ちをゆったりと受け止めていきます。ご家庭で気になることがありましたらいつでもご相談ください。

4歳児 くま組

本日より2学期が始まりました。みなさんどのような夏休みでしたか？『なつのきろく』や子どもたちからの思い出話を楽しみにしています。夏季休業中のほしグループは、年長組と一緒に過ごし、いろいろな刺激を受けて遊ぶ姿がたくさん見られました。

9月上旬はプール遊びを通して水の中で動く心地よさを感じたり、1学期していたことを思い出したりしながら遊んでいきたいと思います。また、気候に応じて戸外で思い切り走ったり、色々な運動遊びをしたりして、体を動かして遊ぶことが楽しいと思えるようにしていきます。

<今月のねらい>

- 興味や関心をもって自分から関わり、様々な遊びを楽しむ。
- 友達との関わりを楽しみながら、自分の思いを言葉や動きに出して遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 園での生活の仕方を思い出し、自分から取り組もうとする。



<家庭との連携>

9月からおひさまグループ（短時間）の降園時間が14時00分になります。それに伴い、ほしグループ（長時間）のお昼寝時間も変わります（14時00分～15時）。活動時間が長くなり、夏の疲れも出てくる時期です。ご家庭ではゆっくり休み、体調を整えるようにしましょう。

暑さがまだまだ続きます。「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムを継続していきましょう。

5歳児 そろ組

44日の夏休みが開け、2学期が始まりました。夏季休業中、ほしグループはプール遊びで水の気持ちよさを十分に感じて動いたり、絵の具をダイナミックに使って遊んだりして過ごしました。今月もまだ暑い日が続くそうですので、引き続きプール遊びや水遊びを楽しんだり、夏に経験したことを再現して遊ぶことを楽しんだりしていきたいと思います。

また、来月の運動会に向けて、友達と一緒に体を動かす楽しさを感じることができるよう環境を工夫していきます。運動会に向けて、必要なことに自分たちで気付いて進めようとする姿も支えていきます。

<今月のねらい>

- 友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じ、繰り返し取り組んだり、挑戦したりする。
- 共通のめあてに向けて、友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わい、つながりを感じる。
- 1日の生活の流れに見通しをもち、自分たちで生活を進めようとする。

<家庭との連携>

今月から運動会に向けていろいろな取組を進めていきます。お子さんから楽しかったことや頑張っていること等、たくさん話を聞く中で、頑張る姿を見守ったり励ましたりして認める関わりを大切にしていましょ。また、暑い中の活動で疲れも出てくると思いますので、ご家庭でも十分休養できるようご配慮ください。



ほしグループ 長時間保育

夏季休業中の保育では、タンボールや大きなビニールシートに絵具で好きなように絵を描き、絵具の感触やのびのび自由に描く楽しさを味わいました。また、その段ボールを使って家を作り、秘密基地のように中に入って遊んでいます。水遊びや色水遊びなど、水を使った遊びの中では「どうしてかな。」「こうしたらどうなるのかな。」と、自分なりに考え、試してその面白さに気付く姿がありました。プール遊びでは、「こんなことができるようになったんだ。」と、水に顔をつけたり潜ったりして見せてくれました。またそんな友達の姿に刺激を受けて、挑戦する幼児もいました。プールの中で風船を浮かべて、浮き輪のようにしたり、大きな氷を運びリレーをしたりして、水の中で遊ぶ楽しさをたくさん感じられたようです。

みんな一緒にの保育の中で、年少児の姿を思いやる年上の幼児の優しさや気遣いが見られ、これからの園生活も楽しいものになっていくでしょう。9月も元気いっぱい、やりたい遊びを見つけて、友達と、保育者と一緒に過ごしていきたいと思います。

